

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・株価も上がり、不安要素がない。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症も収束しつつあるが、その代わりまたインフルエンザ感染者が多くなって、商売によって来客数がまちまちになっている。一概に景気が良くなるとはいえないが、部分的には良くなっているため、そこに期待したい。
	○	百貨店（経営担当）	・新生活や返礼ギフトなどの需要が高まることが予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・近くのスーパーが閉店したので、日用品などの売上が伸びてきている。
	○	コンビニ（経営企画担当）	・気温が高く、雨が降らない日が多いため、引き続き県内の人の動きは活発になると見込んでいる。また、国内観光客も継続して来県が見込まれることや、中国からの観光客に関する明るい材料が増えてきているため、少しずつ増加傾向になることが期待できる。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・コロナ禍で休止していた様々なイベントが本格的に始動しており、国内外問わず観光産業が良くなっていくと期待も込めている。
	○	一般レストラン（代表者）	・歓送迎会シーズンにもなるため、来客数に期待している。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊に関しては先々の予約は動きが良い。宴会に関しては歓送迎会などの予約が増えている。ただ、新型コロナウイルス感染症関連融資の返済が始まる。返済ができる売上を達成できるかは厳しい状況にある。
	□	スーパー（企画担当）	・2～3か月先はゴールデンウィークがあるため、人流も活発になり、今月同様に好調に推移すると考えられる。
	□	スーパー（販売企画）	・客単価上昇が続く限り、同じ状況にあると考えられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は卒業式、フレッシュャーズなどの需要を期待していたが、これといった盛り上がりがなく、景気が良い材料が余り見当たらない。景気はまだまだ良くなる気配はみえない。
	□	家電量販店（営業担当）	・来客数の前年割れが止まらないため、大きな変化は考えにくい。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・大手自動車メーカーの不正問題によるキャンセルや買い控えへの不安は拭えない。
	□	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・平日ステーキ無制限食べ放題のイベントを打つと、地元客の反応が徐々に出てきている。財布のひもが固まっている地元客でもコストパフォーマンスの良いイベントには反応するが、来客数は増えても原価が上がって、忙しかった分、トータルではプラスマイナスゼロの状態である。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・景気が良くなっているという実感がなく、旅行への消費意欲は少ないとみられる。
	□	通信会社（営業担当）	・4月後半から5月にかけては販売が落ち込む時期なので、現在の好調を維持できるよう営業努力を行っていく。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は、前年より若干悪いものの、ここ直近は個人の間際受注が増える傾向が続いており、前年並みの集客を見込んでいる。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・住宅用地や建築資材の価格高騰により、客が住宅建築に関して慎重になっている印象を受ける。
	□	住宅販売会社（役員）	・顧客の住宅購買意欲は衰えてはいない雰囲気はあるが、建築費が月ごとに上昇する傾向にあり、成約率は上がらないとみられる。
	▲	コンビニ（副店長）	・燃料油価格の補助が切れる5月以降は、価格高騰が見込まれ、また、今のように政治が不安定だと少し今後の見通しが危ういとみている。
×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの2月の販売室数が前年比2%増加なのに対し、2月末時点での5月の予約室数は前年比27%減少とマイナスに転じている。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・この先もマイナス要因は見当たらないため、例年以上の景気の拡大が期待できる。
	○	窯業土石業（取締役）	・見積依頼は民間工事が若干増加傾向にあり、3か月先は受注増加が期待できる。

	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・見込みが高い客の来場がほとんどない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進投資をみていると、引き続き原価や人件費高騰などの影響を受け、積極的な動きがみられない。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・2月に減少している求人数は3月に増加するとみており、ほぼ1月と同水準までは増えると予測している。同様にその1か月後の4月においても3月と同水準で求人数が増えた状態で推移すると予測している。
	○	職業安定所（職員）	・求人票へ記載される賃金が増加しているため、今後、更に全体の賃上げが進んでいくと期待している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務担当）	・派遣からの直接雇用で企業の人員確保が増加して、派遣業はなかなか厳しい状況である。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職支援担当）	・消費は増えているが、人材不足を理由に仕事を増やせないという話なども聞く。人材供給が追い付くまでしばらく続くのではないかと。
	▲	—	—
	×	—	—